

科目名称：	経済学（美術学科）	
担当者名：	西田 敬志	
区分	授業形態	単位数
基礎教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
<p>日本は資本主義のため、社会に出れば自らお金の問題について向き合う必要があります。このお金の問題についての最も大きい学問が経済学であり、それを個別の企業に落とし込んだ学問が経営学であります。これを学ぶことで世界や日本で起きている経済に関する問題が自らに関係あることだと理解できるようになり、ビジネス社会に出た際に役立つ知識を得ることを目的とします。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>①ビジネスに求められる経済学の基礎的な知識を身に付けること ②新聞やニュースを見て、理解できるようになること ③起業する際の手順や注意点を理解できるようになること</p>		

基礎教育科目	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	○
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身についている。	

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)	60	30		10	100
全学DP(2)					0
全学DP(3)					0
全学DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 税理士 *税理士事務所	《経験年数1》 4年8か月 *15年3か月
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 経済学の基礎	直近の新聞を読んでおく	15分
第2回 家計の経済学	ミニテストを問く	15分
第3回 企業の経済学	ミニテストを問く	15分
第4回 金融の経済学	ミニテストを問く	15分
第5回 政府の経済学	ミニテストを問く	15分
第6回 経済学の基礎まとめ(授業内でディスカッションをしながら演習問題に取り組む)	ディスカッションテーマについて調べておく	30分
第7回 経済学の歴史 小テスト	小テストに向け第2～5回のミニテストを復習する。	15分
第8回 日本経済の発展	ミニテストを問く	15分
第9回 日本経済の現状	ミニテストを問く	30分
第10回 国際経済の仕組み	ミニテストを問く	15分
第11回 現代社会の諸課題(授業内でディスカッションをしながら演習問題に取り組む)	ディスカッションテーマについて調べておく	15分
第12回 経営理念・経営戦略 小テスト	ミニテストを問く 知っている会社の経営理念を調べる	30分
第13回 経営組織の基礎	ミニテストを問く	15分
第14回 経営管理の基礎	ミニテストを問く	15分
第15回 復習とまとめ 小テスト	小テストに向け第12～14回のミニテストを復習する。	30分
<p>事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。 また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(ミニテスト)をまとめることになる。</p>		
成績評価の方法・基準		
<p>定期試験は、60%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。 小テスト10%×3回 ディスカッション10%</p>		
課題に対するフィードバック		
<p>授業内の小テストは評価し返却する。定期試験は、希望者には事務局を通して返却する。</p>		
教科書・参考書		
レジュメを配布する		